

# 磐城時報

日刊 二十夕  
編輯部 磐城石城郡平町屋町十四  
印刷部 磐城石城郡平町屋町十四  
電話 一四〇  
發行所 磐城石城郡平町屋町十四  
電話 一四〇  
廣告料 一行十圓(月金五圓) 一月三十圓(月金十圓) 三月九十圓(月金三十圓) 半年一百五十圓(月金五十圓) 一年三百圓(月金九十圓) 印刷費別計  
A 日刊(日曜、祭日) 休刊

## 濱三郡の木炭

### 明年から等級検査

#### 二十日平町事務所にて 等級の標準を審査

本縣に於ける木炭は會津地方が萬圓を一株五十圓第一回拂込四強制的の等級検査を行つてゐる分の十二圓五十圓として二萬株の縣南白河附近を希望者に對し之を石城郡、双葉郡から募する等級検査を行つてゐるのみ集するものであるが株式募集の大で他は全部之行はず生産者も体の方針に依ると石城郡に於ける需要も不利を蒙る事が少なくない。この中一萬人を株主として一巨つて等級検査を行ふ計劃をたてゐるが、十九日濱三郡の六種類の木炭を平町元石城郡役所の濱三郡木炭同業組合事務所内に集め、東京簡屋から川島隆縣から佐藤技師、濱三郡組合長早川清久外數氏會合し等級審査の標準について打合せの處があつた。濱三郡木炭同業組合では明年から等級検査を行ふ豫定である。

## 磐城製糸 株式募集

平町に設立する事に決定した磐城片倉製糸株式會社の株式募集方法については二十五日頃發起團體である石城製糸同業組合、石城町村長會、石城販賣利用組合の幹部が會合して協議をなす筈であるが資金二百萬圓の中百萬圓は片倉組が出資し殘部の百萬圓は石城製糸同業組合から募集する由で財界が不況でも株式募集には大變骨を折る必要はあまいと見られてゐるが、片倉組並に發起團體の意向を聞くに此の會社は製糸家と製糸會社が相提携して製業の發達と地方の産業開發のために設立されたものであるから株式募集も目的の主体である製糸家を主体にして募集する方針である。

## 平局の新設電話

### 申込受付開始

#### 一般申込は五圓を要す 發表は七月下旬

平郵便局に於ける本年度普通電報の特典ある由である。話の新規加入申込は六月二十五日より七月五日迄の十一日間受理する事となり設備費は昨年度同額にて四百八十圓外一般申込登記料五圓を要する事に決定した。架線線定数は一般需要数を調査の上申込数に按分して決定するべく發表は早くも七月下旬の見込で向は電話規則に依る加入申込者の加入申込申請に對しては申込登記順番に依り平局開四倉蘭市場十九日取引致如左。

## 四倉蘭市場

### 十九日取引

四倉蘭市場十九日取引致如左。第二十九九聯隊に入隊し軍事訓練

## 溺れた子供を 救つて表彰

内郷村大字白水宇賀源次郎(二八)は去る四月九日午前八時半頃同村大字白水會川廣(三ツ)が滑津川に溺死せんとしたのを發見し着衣のまま高所から飛び降り之を救助したので知事から表彰された。

## 轉覆船員を救助した 十七名表彰

### 知事から金一封を添へて

豊間村大字薄磯消防組鈴木源之助、大谷勇五郎、鈴木源衛門、鈴木熊吉、鈴木兼吉、君島巳之吉、鈴木辰之助、鈴木駒吉、鈴木三三九、政井甚三郎、鈴木庄太郎、鈴木熊吉、山野邊數馬外四名の十七名は去る四月二十二日豊間村鈴木定吉外六名が天馬船で沖合一漕の個所で暴風に遭ひ船が顛覆して危く溺死しやうとしたのを發見協力して危険を冒し全部救助したので今回加勢知事から金一封を添へ表彰する。

## 判檢事と博士一行 五人殺し現場實査

### 七月二日第八回公判では 最後の判決を見やう

内郷村大字白水鈴木治八郎にかか不審を抱いたの十九日宮城控訴院井上檢事、桶受命判事九月平支部に於て死刑を言渡さば東北帝國大學教授石川博士とれたが、其後宮城控訴院に控訴共に来郡し平署伊藤司法主任等したので數回公判を開いて審理したが、治八郎が豫審に於て自白した犯行を否認してゐるの故に無罪か何れかに決定する模様である。

## 石城各礦 山神祭

常磐炭礦山労働者の唯一の慰安樂となる山神祭は来る廿三日の兩日各炭礦一齊に行はれるが各炭礦とも目下それと、炭礦色の濃いイルミネーションや芝居、キネマ、假裝行列と色々準備に大車輪の体だが入山、古河の兩炭礦では大体左の様なプログラムに決した。

## 一片の肉(四)

### 慶大北郷生

然らば如何なる行爲は之を保護に値せぬか否かの限界を定めることは甚だ困難且微妙な点でありまして、結局は私達の價值判斷に訴へ我々の社會通念を標準とする外ないの事である。私が前に若し當時の社會觀念から云々と申上げたのは此事を指すのであつた。社會觀念は時代と共にその内容も必然變化するから斯く假言的に説いたのです。法律は時折斯やうな社會觀念に依つてのみ決せられる標準を設けてたります。例へば取引の通念に従ひとか、信義誠

## 驚いた!!!

こうまで安いとは 十加納活版所の印刷物

## 凍水販賣業者 組合設立を奨励

平警察署管内の今年の凍水販賣營業許可願ひ出者は十八日まで三廿廿廿名に達したがまだ出願はあらかし、平町には凍水販賣業者の組合があり保健衛生に就ては警察當局と連絡をとり得るので取締上非難な便宜を得てゐるが他町村でも組合を設立し自發的に非衛生的な事をしないやう奨励する方針である。

へは之と異り之を實行せしめても良いといふのであります。私は誠心しませぬ。然らば或いはアントニオが多額の金員の不當に利得することにせうか、何人も理由なしに他人の犠牲に於て利益を不法に得るといふことは許されませぬ。之は恐らくベネチヤ領に於ても然あるべしと思はれます。現今行はるゝ不當利得の法理は新しい起源を有するものでないからであります。貸した金の返却の許へは開かれてゐるのであります。格別の不都合を生じないことになりす。

入山炭礦(廿二日) 花角力 剣道、弓道試合及び庭球、野球戦、キネマ (廿三兩日) 歌舞伎芝居、喜劇、安來節 古河炭礦(廿一日) 素人演藝、キネマ、文化動物博覽會 (廿二日) 祭典、角力、剣道 試合、キネマ、大弓、神輿渡御、寶探し (廿三日) 陸上運動會、假裝行列

### 鯉群が多いが 餌付き不良

#### 磐城丸調査

本縣水産試験場磐城丸は十六日から十八日にかけて小名濱の東南東六十哩の沖合に出動して鯉群の調査をなしたるに小名濱の東南南三十五哩の海上に至りたる時鯉群の多きを認め東南東六十海里の地点には鯉の群多く海面真つ黒になつてゐるが餌付きなく磐城丸は尚ほ沖合に進航中である

### 自動車から 飛び降りる

#### 生命危篤

十八日午後六時二十分石城郡草野村綱次郎長女會川たつ(一八)は同郡平町より乗合自動車にて歸宅の途中自宅を乗り越したのであつて、後方に飛び降り後頭部を地面にて打ち腦振盪を起して昏倒直ちに手當を加へたが生

### 妓夫太郎と 工兵の喧嘩

#### 告訴沙汰

平町鎌田町遊廓榮樓方番頭小林關三郎(三八)は十九日夜遊廓内に於て仙臺市工兵第二大隊二等卒小林久吾(二二)と飲酒し些細の事から口論を始め久吾のため

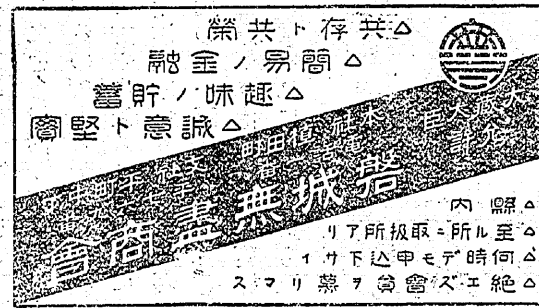
### 夏にかけて 泥棒に御注意

#### 平警察署員談

不景氣が漸く結果か泥棒が多い結果かは判らぬが昨今平署管内

の窃盜被害届出では殆んど連日の有様なので同署では各刑事が腕によりをかけてこの犯人逮捕に主力を注いでゐるが窃盜被害届防の方法として同署當局は次ぎの如く語つてゐた。

昨今此地方を荒し廻つてゐる犯人は小泥棒で何れも一般の不用意を窺つて手當り次第掻き渡つて行く位のものであるが之れが常習的になるに於ては大きな仕事もする様になるものであるからさうなることだ五の迷惑は誠に甚大となる譯である、期節から言ふと昨今方各濱の漁期ともなつてゐる



ので夫れ、眞面目に働く積りなれば仕事があるからつまらぬ窃盜などの少い時期となつてゐるのだが、斯うした被害があるのだから遺憾である、然し各自の注意によつて随分之れを防止する事が出来るのだから戸締り其他に注意をして貰ひ度いと共に殊に之れからは盛夏の候となるので暑さに堪え切れず雨戸の締りをせぬなど、言ふ家庭が相當にある様であるから戸締りを厳重にする事を忘れぬと共に家庭全部が連れ立つて散歩に出かけるなど、言ふ事は成るべく注意して貰ひ度い。云々

鳥料理 蒲焼 魚 榮 平町南町 電話四二四番

松村病院 内科 婦人病 皮膚病 電話七〇一

吉田眼科 平町紺屋町 電話六八番

高久病院 内科・外科・耳鼻科 咽喉科・花柳病科 院長高久 平町 電話二三五

大和田醫院 耳鼻咽喉科 平町南町 電話一七〇番

### 商店向貸家

平町仲町十四番地新道通り 新築二階建(一ヶ月二十圓) 御希望により住宅に改造致します 左記に御相談下さい 平町鍛冶町(電話二四六番)

### 武者人形

五武 小道具一式 大廉賣!!! 平町二丁目(電話六四九番) いづや

### 夏ノレンテカシ

涼しさをそよぶる 各種豊富に入荷しました 一枚五十銭から一圓五十銭迄 外に夏スダレ 敷種(三十銭から) 平町四丁目(電話四五番) 販賣所 伊勢屋商店

### 銀行の預金権利 譲渡いたします

(姓名在社)

### 花柳病科 診療開始

木村外科醫院 平町六丁目橋際 専門

### 水戸黄門 續篇

天地震駭の大徳 特別大興行に付 料入 特等六六〇 小三〇 一等大五〇 小二〇 二等大四〇 小一〇

監督 池田富保 主演 伏見多上尾 見多上尾 江直太郎 櫻河 木部 梅河 子梅 子米 井山 子蓉 村河 子嘉 村河 子嘉 井山 子蓉 村河 子嘉 井山

助之與西中影撮 一英隼井影撮 保富田池督監

六電 館 平 設常級高 曜日土 開公日一廿月六